令和7年度

単位数 教科・科目 理科·生物

シラバス

学年・クラス	2 学年	(必修 · 選択)	担	当	者	田	中	到
使用教科書	東京書籍	生物						
使用副教材	東京書籍	ニューステップアップ生物						

目 標

- ・生物や生物現象について理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験に関する基本的な技能を身に付ける。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・生物や生物現象に主体的に関わり、生命を尊重し、自然環境を保全しようとする態度を養う。

授業の内容・進め方

授業内容:①生物の進化 ②生命現象と物質 ③遺伝情報の発現と発生 ④生物の環境応答 ⑤生態と環境 進 め 方:教科書に合わせて問題集、ワークシートを使用します。小テストを実施することもあります。 考 査:授業内容の確認(基本問題) 8割、学んだことを活用する問題(応用問題) 2割出題します。

評価規準(観点別達成目標・評価項目)

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
観点別達成目標	生物や生物現象について理解 し、科学的に探究するために必 要な観察、実験に関する基本的 な技能を身に付けている。	的に探究する力を身につけてい	生物や生物現象に主体的に関わり、生命を尊重し、自然環境 を保全しようとする態度が身に ついている。
評価の割合	1	1	1

	評価の観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に 取り組む態度
項目	定期考查	0	0	\triangle
	小テスト	0	0	\triangle
	実験・レポート作成	0	0	0
	課題・提出物	Δ		©
	授業への参加態度	Δ	0	©

・観点別評価 3つの 観点別に各評価項目の達成率でA・B・Cを決定する。

A: 十分満足できる B: おおむね満足できる C: 努力を要する

・評価・評定 観点別評価から総合的に成績 (評価・評定) を決定する。

指導計画及び中単元別評価規準

		及び中単元別評価	叫 八十					
学					評価規準			
期	月	単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に		
291				八中郎、 1文 旧	心为。刊例:农先	取り組む態度		
前期	5	1編 生物の進化	1章 生命の起源 と細胞の進化 火山の噴火につい て防災週間に学習 する 2章 遺伝子の変 化と進化のしくみ 3章 生物の系統	本的な知識を身につけ	語を説明することができる。 遺伝子頻度を求めるこ	細胞の進化、遺伝子の変化と進化、生物の系統と進化について、と関連性について主体的に学習しようとする態度が身についている。		
	6		3草 生物の系統 と進化					
	7			前期中間考査	<u> </u>	•		
	8 9	2編 生命現象と 物質		パク質について基本的 な知識を身につけてい る。	いて、動物細胞、植物細	細胞小器官やタンパク 質のはたらきについ て、主体的に学習しよ うとする態度が身につ いている。		
		前期期末考査						
後期	10	3編 遺伝情報の 発現と発生	1章 遺伝情報と その発現 2章 発生と遺伝 子発現 3章 遺伝子を扱 う技術		み、構造について説明	遺伝に関する技術について、生命倫理の観点から、主体的に考えようとする態度が身についている。		
	11	後期中間考査						
	•	4編 生物の環境 応答	の受容と反応 2章 動物の行動 3章 植物の環境	境応答について、基本 的な知識を身につけて いる。	境応答に関する現象や	刺激に対する生物の環 境応答について、主体 的に考察して学習しよ うとする態度が身につ		
	12		応答	脳、眼球の解剖につい て適切な操作を行い観 察することができる。		いている。		
	1	5編 生態と環境	1章 個体群と生 物群集 2章 生態系の物	生態系について、基本 的な知識を身につけて		生態系と人間生活について、自然保護の観点から、生物多様性を守		
	2 3		質生産と物質循環 3章 生態系と人 間生活			る方法や目的、理由に ついて主体的に考えよ うとする態度が身につ いている。		
				後期期末考査				
		区列划小勺且						